

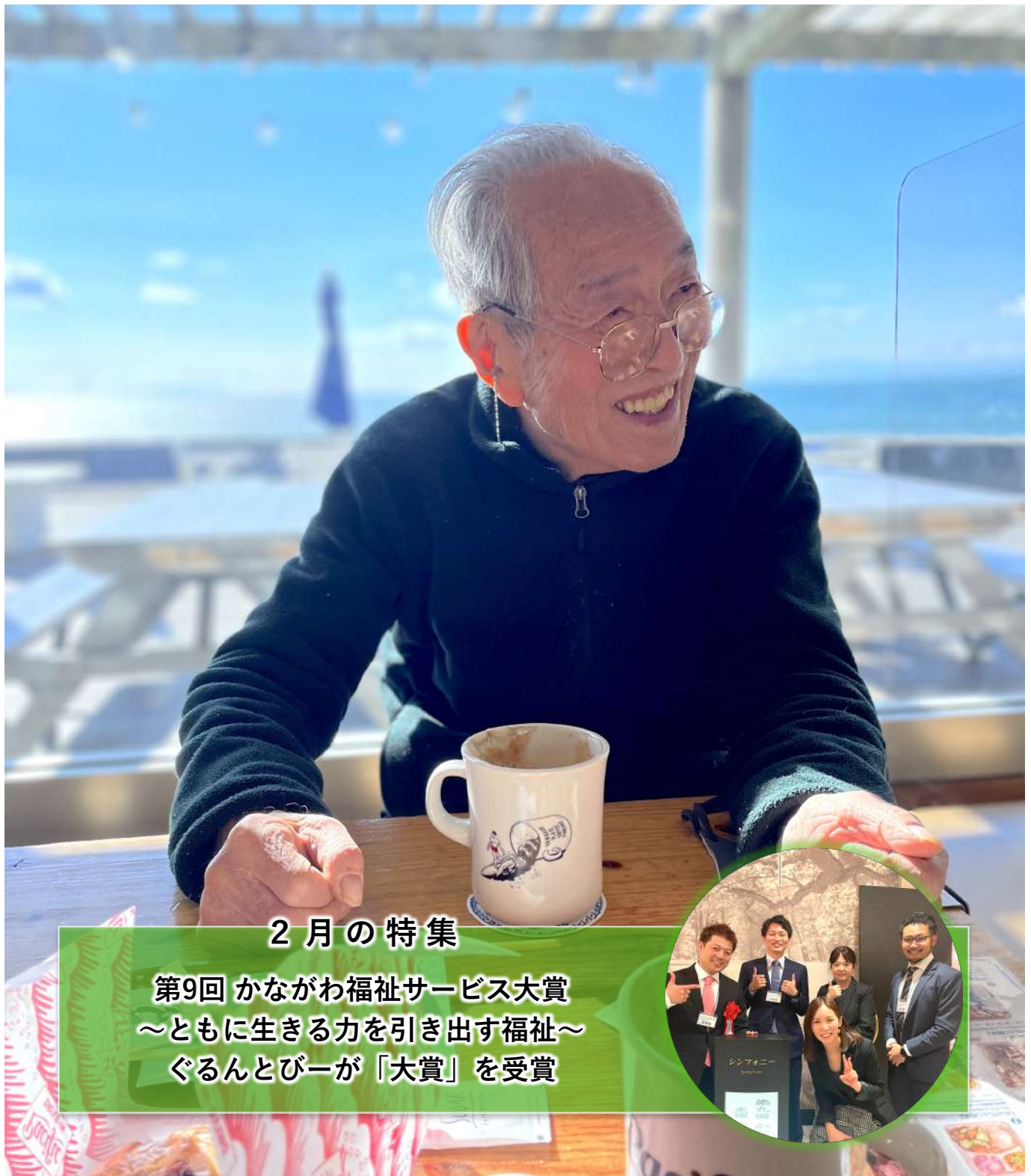
地域をひとつの大きな家族に

ぐるんと まちかど新聞

2022.2

Vol.41

ぐるんとまちかど新聞は、
「地域をひとつの大きな家族に」を
テーマに、ぐるんとびーでの日常や
地域のことを発信していきます。



2月の特集

第9回 かながわ福祉サービス大賞
～ともに生きる力を引き出す福祉～
ぐるんとびーが「大賞」を受賞





おかげさまで！

第9回 かながわ福祉サービス大賞「大賞」受賞

防犯パトロール

コロナ渦で地域のつながりが薄くなっている事、高齢者が家に閉じこもっている事を狙って不審者の訪問、盗難が発生。そこで団地の住民とともにパトロールを実施しました。



防犯パトロール

八百屋



農地開拓



農地開拓

地域で農地を持っている方を訪問。余っている土地で野菜を育てる。持て余している土地から地域のハブへ生まれ変わるきっかけに。

八百屋

週1回、団地のエレベーター前で野菜を販売。コロナ渦での新たなつながり。



スポトレ

スポトレ

スポーツを通じた子どもたちの学び場。公園で開催しており誰でも参加できる。

住民相互の
支え合いへの
取り組み

ラジオ体操



ラジオ体操

平日毎朝7時半から、理学療法士や看護師、利用者さんが、住民として地域の方と一緒に体操しています。

ママトレ

産後の身体をケアするとともに、孤立を防ぐためのママ同士のコミュニティ形成の場。



ママトレ

電動自転車



オンライン会議



オンライン会議

電動自転車

コロナ渦で接触を減らすため、会議はオンラインにし、移動も電動自転車などを活用しています。

福祉事業を越え、住民相互の支え合いへ

第9回かながわ福祉サービス大賞でぐるんとびーが大賞を受賞しました。この賞は福祉の未来を拓く、先進事例を発掘・紹介するための賞で、「ともに生きる力を引き出す福祉」がテーマでした。

今回、福祉事業の枠を超え、住民相互の支え合いにつながる地域での取り組みが、先進事例として評価された事を、とても嬉しく思っています。

自分たちが地域住民として「あったらいいな」と思い、始めた取り組みたち。ひとつひとつは一見、地道な取り組みが、折り重なって「ともに生きる」地域になるのだと思います。今回の受賞は、地域住民の皆様、関係者の皆様の日頃からのご理解、ご協力のおかげです。改めて、心から感謝致します。そしてラジオ体操や八百屋などいつでもお気軽にいらしてください。

理学療法士の前に、いち住民として「楽しいからやる」の延長に、ともに生きる福祉がある

かわべゆうし

ぐるんとびー理学療法士、川邊祐詩の日常

近所の人の顔を知りたいと始めた朝のラジオ体操の後のコーヒータイム♪



ご利用者さんでもあるルームメイトとそのご家族とランチ！



神社に新年のご挨拶へ。



階段で滑って肩が外れた時は、利用者さんが見つけてくれて「家の中で休みな、私のベッドで休んでいいよー。」と、頭を撫でながら介抱してくれました。本当のばあちゃんみたいで、涙が出そうでした。





ぐるんとびー訪問看護ステーション

空き：▲

庭の植物のお世話が大好きな利用者さんと一緒に、リハビリ時間はお庭へ。

★ 目指せ！100歳 ★



看護小規模多機能型居宅介護ぐるんとびー駒寄

空き：○

ぐるんとびーケアプランセンター

空き：▲

小規模多機能型居宅介護ぐるんとびー駒寄

空き：▲

団地の住民さんによる駄菓子販売とぐるんとびーの野菜販売を同時開催！

山形出身の方に作り方を教わって、芋煮を配りました。



雪の日。雪かきをする子どもたち。

夜には、道路整備のプロの住民が登場！



パークサイド駒寄にはスーパーマンがたくさん！

「やりたい！」を地域と叶える

突撃!! ぐるんとびー



災害に強い団地に！「団地で消防訓練」

東日本大震災の時、コーディネーターとして被災地で半年間活動したぐるんとびースタッフの中野。「災害時にも発揮する『共助』の力。共助の力を育む為にも、顔の見える関係が大切」と感じ、日々活動しています。パークサイド駒寄団地の消防訓練では『避難の際にエレベーターが使えない状況下で、高層階の要救助者をどのように降ろすか』を想定した訓練を提案させていただき、団地のみなさんと実践しました。

災害時には救急車や市からの迅速な支援などの『公助』は期待出来ません。では、どう乗り越えるのか。普段から備える備蓄などの『自助』も大切ですが、困ったら助け合う関係『共助』が必要になります。しかし、共助はすぐに構築できません。普段から顔の見える関係を作る事。防災訓練や野菜販売を通じて、顔の見える関係作りをしています。

消防署からも消防隊が来てくれました！



布担架で高層階の要救助者を運ぶ訓練！運ばれる恐怖感を味わう機会にもなりました。



消火器は火の手前からホウキで掃く様に。



パークサイド駒寄は横方向への延焼が少ない建物のため逃げる際は横へ。

パークサイド駒寄のエレベーター前で野菜売ってます！

小規模多機能型居宅介護「ぐるんとびー駒寄」パークサイド駒寄住民

なかのまさてる 中野 正英 (通称：ブルさん)



パークサイド駒寄消防訓練

毎年2回開催

主催：UR都市機構管理業務受託者

URコミュニティ神奈川西住まいセンター

スタッフインタビュー

くごた ひろゆき
久合田 浩幸

訪問看護ステーション 所属



【自己紹介】

藤沢生まれの藤沢育ち。
3人の子の親父。
クゴリハ鍼灸院の院長。
(ぐるんとびーは非常勤です。)



これから成長したいこと

新たな価値を作りたい。

ぐるんとびーのここが好き♡

【人間】をみるところ。

久合田 浩幸

訪問看護ステーション
理学療法士、鍼灸師
クゴリハ鍼灸院の院長

こんな人と一緒に働きたい！

笑顔で話し合える人。



毎週 金曜日
15:30~17:00
不定期休み



毎週金曜日
10:45~11:45
地域交流スペース
不定期休み



第2・4 木曜日
13:00~16:00
パークサイド駒寄集会場
祝日&不定期休み



毎週金曜日
10:00~17:00
地域交流スペース
不定期休み

地域交流スペース（イベント時のみオープン）



滝の沢商店街の中に
あります。
写真の右側の方です。

〒251-0861
神奈川県藤沢市遠藤701-5

小規模多機能型居宅介護『ぐるんとびー駒寄』



エレベーターにて
6階へお上がりください。

〒251-0861
神奈川県藤沢市大庭5682-6
パークサイド駒寄3-612

看護小規模多機能型居宅介護『ぐるんとびー駒寄』

ぐるんとびー訪問看護ステーション
ぐるんとびーケアプランセンター



子どもも遊べるボルダ
リングもあります…！

〒251-0861
神奈川県藤沢市大庭5529-8
シャルマンコーポ湘南ライフ
タウン 1F



Grundtvig.inc

発行元：株式会社ぐるんとびー

お問い合わせ

0466-54-7006

shimbun@grundtvig.co.jp

ご相談・見学はお気軽に
ご連絡ください。



ぐるんとびーの
日常を配信中！

